

四半期報告書

(第38期第3四半期)

自 平成21年10月1日

至 平成21年12月31日

曾田香料株式会社

東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号

(E01043)

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
3 関係会社の状況	2
4 従業員の状況	2

第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況	3
2 事業等のリスク	4
3 経営上の重要な契約等	4
4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	5

第3 設備の状況

6

第4 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	6
(2) 新株予約権等の状況	6
(3) ライツプランの内容	6
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	6
(5) 大株主の状況	6
(6) 議決権の状況	7

2 株価の推移

7

3 役員の状況

7

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13

2 その他

21

第二部 提出会社の保証会社等の情報

22

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年2月10日
【四半期会計期間】	第38期第3四半期（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）
【会社名】	曾田香料株式会社
【英訳名】	Soda Aromatic Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中地 俊朗
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋小伝馬町2番3号(本社事務所)
【電話番号】	03（5645）7340
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理部門長 中島 直文
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 （東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第3四半期 連結累計期間	第38期 第3四半期 連結累計期間	第37期 第3四半期 連結会計期間	第38期 第3四半期 連結会計期間	第37期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高（千円）	14,803,195	12,227,366	4,618,059	4,147,044	18,517,210
経常利益（千円）	2,022,265	810,338	518,267	333,718	2,085,494
四半期（当期）純利益（千円）	1,230,906	451,485	319,511	201,726	1,253,446
純資産額（千円）	—	—	11,741,614	12,155,204	11,626,037
総資産額（千円）	—	—	19,426,757	18,912,426	18,336,826
1株当たり純資産額（円）	—	—	1,174.57	1,197.18	1,150.66
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	123.13	45.16	31.96	20.18	125.39
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—	—	—
自己資本比率（％）	—	—	59.7	63.3	62.7
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	675,911	1,372,174	—	—	1,027,357
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	△583,954	△733,798	—	—	△740,248
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	△800,753	60,560	—	—	△500,593
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（千円）	—	—	2,241,074	3,454,529	2,720,889
従業員数（人）	—	—	371	414	367

（注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3 【関係会社の状況】

第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年12月31日現在

従業員数（人）	414 (38)
---------	----------

(注) 従業員数は就業人員（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、嘱託契約、顧問契約の従業員を含み、派遣社員を除く。）は、当第3四半期連結会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成21年12月31日現在

従業員数（人）	291
---------	-----

(注) 従業員数は就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、嘱託契約、顧問契約の従業員を含み、派遣社員を除く。）は、含まれておりません。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間における生産実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業の部門別	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	前年同四半期比 (%)
フレグランス (千円)	362,726	72.7
フレーバー (千円)	1,662,540	131.9
合成香料・ケミカル (千円)	1,661,435	83.5
合計 (千円)	3,686,701	98.3

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 連結会社間の取引が複雑で、生産高を正確に把握することは困難なため、概算値で表示しております。

(2) 商品仕入実績

当第3四半期連結会計期間における商品仕入実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業の部門別	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	前年同四半期比 (%)
フレグランス (千円)	52,808	68.7
フレーバー (千円)	458,311	83.8
合成香料・ケミカル (千円)	230,576	55.3
合計 (千円)	741,697	71.2

- (注) 1. 金額は仕入価格で表示しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

当第3四半期連結会計期間における受注状況を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業の部門別	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
製品				
フレグランス	340,015	83.9	35,327	68.5
フレーバー	1,442,073	130.9	169,762	117.4
合成香料・ケミカル	1,389,013	74.0	95,283	85.4
小計	3,171,103	93.7	300,373	97.6
商品				
フレグランス	68,607	77.5	14,046	165.8
フレーバー	465,996	81.8	70,638	88.2
合成香料・ケミカル	239,119	56.0	32,094	191.4
小計	773,723	71.3	116,778	110.9
合計	3,944,826	88.3	417,152	101.0

- (注) 金額は販売価格で表示しております。

(4) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業の部門別	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	前年同四半期比 (%)
製品		
フレグランス (千円)	366,910	90.9
フレーバー (千円)	1,472,802	127.8
合成香料・ケミカル (千円)	1,498,698	78.6
小計 (千円)	3,338,411	96.4
商品		
フレグランス (千円)	63,495	63.6
フレーバー (千円)	494,614	81.7
合成香料・ケミカル (千円)	250,293	55.8
小計 (千円)	808,403	70.1
その他 (千円)	229	38.9
合計 (千円)	4,147,044	89.8

(注) 1. 前第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
D I C株式会社	735,118	15.9	—	—

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界的不況下、輸出と生産は回復しつつあるものの、デフレの進行と円高の継続により企業収益は依然低水準にあり、これによる設備投資の抑制や雇用・所得環境の悪化が継続する厳しい状況が続いており、本格的な景気回復にはまだ時間を要するものと思われま

す。香料業界におきましても、不況による最終製品の消費低迷や消費者の低価格志向を背景とした製品価格の低下等により国内市場の売上は減少しており、厳しい環境が続きました。

このような状況下、当社グループは収益改善に努め、生産・販売・研究・開発が一体となって、製品開発における顧客ニーズへの対応力を強化してまいりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間は、顧客市場の競争激化の影響を強く受けた合成香料・ケミカル製品の大幅販売量減とそれに伴う生産調整による製造原価アップ等により、売上高は4,147百万円（前年同期比10.2%減）、営業利益は360百万円（同28.6%減）、経常利益は333百万円（同35.6%減）、四半期純利益も201百万円（同36.9%減）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

日本国内の売上高は3,808百万円、営業利益は273百万円となりました。

②アジア

アジア地域の売上高は468百万円、営業利益は82百万円となりました。

（注記）当社グループは、単一セグメントに属する香料等の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、事業の種類別セグメント情報はありません。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第2四半期連結会計期間末に比べ476百万円増加し、3,454百万円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間におけるフリー・キャッシュ・フローは807百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は832百万円（前年同期は162百万円の使用）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が332百万円、減価償却費が175百万円となり、また法人税等の支払額が142百万円となったこと及びたな卸資産が169百万円の減少、仕入債務が361百万円の増加などによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は24百万円（前年同期は171百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出23百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は319百万円（前年同期は200百万円の使用）となりました。これは、借入金の返済259百万円と配当金の支払額59百万円によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、243百万円であります。

なお、当第3四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	34,400,000
計	34,400,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成21年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成22年2月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,000,000	10,000,000	ジャスダック証券取引所	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は1,000株であります。
計	10,000,000	10,000,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成21年10月1日～ 平成21年12月31日	—	10,000	—	1,490,000	—	1,456,855

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握していません。

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成21年12月31日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 3,000	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 9,992,000	9,992	—
単元未満株式	普通株式 5,000	—	—
発行済株式総数	10,000,000	—	—
総株主の議決権	—	9,992	—

② 【自己株式等】

平成21年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数 (株)	他人名義所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
曾田香料株式会社	東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号	3,000	—	3,000	0.03
計	—	3,000	—	3,000	0.03

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高 (円)	820	773	720	750	735	700	685	657	630
最低 (円)	790	670	680	695	680	670	648	560	580

(注) 最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第5【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,454,529	2,720,889
受取手形及び売掛金	※3 4,654,774	3,596,801
商品及び製品	1,308,365	1,759,880
仕掛品	1,527,448	1,924,562
原材料及び貯蔵品	1,336,986	1,250,829
その他	315,425	340,299
貸倒引当金	△13,465	△3,289
流動資産合計	12,584,065	11,589,973
固定資産		
有形固定資産	※1 4,822,198	※1 5,158,281
無形固定資産	※4 108,605	※4 122,135
投資その他の資産	1,397,557	1,466,434
固定資産合計	6,328,360	6,746,852
資産合計	18,912,426	18,336,826
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※3 2,219,310	1,673,086
短期借入金	1,005,680	1,000,000
未払法人税等	158,731	307,225
賞与引当金	202,757	409,356
役員賞与引当金	6,755	11,297
その他	610,660	999,108
流動負債合計	4,203,895	4,400,074
固定負債		
長期借入金	500,000	300,000
退職給付引当金	1,835,039	1,825,724
役員退職慰労引当金	106,175	156,614
その他	112,111	28,375
固定負債合計	2,553,326	2,310,714
負債合計	6,757,221	6,710,788

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,490,000	1,490,000
資本剰余金	1,456,855	1,456,855
利益剰余金	9,012,513	8,605,209
自己株式	△2,361	△2,361
株主資本合計	11,957,007	11,549,702
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	107,614	74,307
繰延ヘッジ損益	△902	△25,058
為替換算調整勘定	△96,093	△96,391
評価・換算差額等合計	10,618	△47,143
少数株主持分	187,578	123,477
純資産合計	12,155,204	11,626,037
負債純資産合計	18,912,426	18,336,826

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	14,803,195	12,227,366
売上原価	9,885,545	8,519,078
売上総利益	4,917,649	3,708,287
販売費及び一般管理費	※1 2,922,713	※1 2,822,849
営業利益	1,994,935	885,438
営業外収益		
受取利息	6,871	3,389
受取配当金	10,537	9,464
持分法による投資利益	15,400	—
その他	13,795	9,442
営業外収益合計	46,605	22,295
営業外費用		
支払利息	8,940	13,590
債権売却損	7,280	590
休止固定資産減価償却費	—	76,189
その他	3,054	7,025
営業外費用合計	19,275	97,396
経常利益	2,022,265	810,338
特別損失		
固定資産除却損	9,040	3,575
和解金	12,000	—
特別損失合計	21,040	3,575
税金等調整前四半期純利益	2,001,224	806,762
法人税等	770,317	※2 317,703
少数株主利益	—	37,573
四半期純利益	1,230,906	451,485

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	4,618,059	4,147,044
売上原価	3,160,000	2,840,721
売上総利益	1,458,058	1,306,323
販売費及び一般管理費	※1 952,451	※1 945,376
営業利益	505,607	360,946
営業外収益		
受取利息	1,668	1,671
受取配当金	2,776	1,395
持分法による投資利益	7,188	—
その他	6,330	2,405
営業外収益合計	17,964	5,473
営業外費用		
支払利息	2,704	4,809
債権売却損	2,134	164
休止固定資産減価償却費	—	25,386
その他	464	2,340
営業外費用合計	5,304	32,701
経常利益	518,267	333,718
特別損失		
固定資産除却損	5,785	1,198
特別損失合計	5,785	1,198
税金等調整前四半期純利益	512,481	332,520
法人税等	192,969	※2 114,031
少数株主利益	—	16,761
四半期純利益	319,511	201,726

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,001,224	806,762
減価償却費	487,067	517,366
のれん償却額	—	12,272
固定資産除却損	7,099	3,506
持分法による投資損益(△は益)	△15,400	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	379	7,826
賞与引当金の増減額(△は減少)	△239,490	△206,804
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,814	△4,542
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,677	△41,124
受取利息及び受取配当金	△17,408	△12,853
支払利息	8,940	13,590
和解金	12,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	△477,681	△917,685
たな卸資産の増減額(△は増加)	△909,654	844,414
仕入債務の増減額(△は減少)	758,957	521,609
その他の流動負債の増減額(△は減少)	—	221,581
その他	95,078	58,915
小計	1,720,975	1,824,836
利息及び配当金の受取額	34,332	12,581
利息の支払額	△9,455	△14,128
和解金の支払額	△6,000	—
法人税等の支払額	△1,063,939	△451,116
営業活動によるキャッシュ・フロー	675,911	1,372,174
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△9,715	△10,337
有形固定資産の取得による支出	△471,452	△724,449
無形固定資産の取得による支出	△13,581	△1,080
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△89,021	—
その他	△183	2,067
投資活動によるキャッシュ・フロー	△583,954	△733,798
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000	△189,360
長期借入れによる収入	200,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△600,000	—
自己株式の取得による支出	△837	—
配当金の支払額	△199,915	△139,966
少数株主への配当金の支払額	—	△10,113
財務活動によるキャッシュ・フロー	△800,753	60,560
現金及び現金同等物に係る換算差額	192	△5,285
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△708,602	693,650
現金及び現金同等物の期首残高	2,949,677	2,720,889
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	39,988
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 2,241,074	※ 3,454,529

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
1. 連結の範囲に関する事項の変更	(1) 連結の範囲の変更 第1四半期連結会計期間より、曾田香料(昆山)有限公司、亞洲台曾香料私営有限公司は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。 (2) 変更後の連結子会社の数 5社
2. 連結子会社の事業年度等に関する事項	第1四半期連結会計期間より、連結の範囲に含めている曾田香料(昆山)有限公司、亞洲台曾香料私営有限公司は、決算日が12月31日でありませぬ。四半期連結財務諸表の作成にあたっては、同四半期決算日現在の四半期財務諸表を使用し、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

【表示方法の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
(四半期連結損益計算書)	前第3四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「休止固定資産減価償却費」(1,356千円)は、営業外費用の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記しております。
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)	前第3四半期連結累計期間において、営業活動によるキャッシュ・フローの「持分法による投資損益(△は益)」(当第3四半期連結累計期間 121千円)は、その重要性が低くなったことから、当第3四半期連結累計期間では営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しております。
	前第3四半期連結累計期間において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりました「その他の流動負債の増減額(△は減少)」(74,357千円)については、その重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記しております。

当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	
(四半期連結貸借対照表)	「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令(平成20年8月7日内閣府令第50号)の適用に伴い、前第3四半期連結会計期間において、「原材料」と流動資産の「その他」に含めていた「貯蔵品」(124,640千円)は、当第3四半期連結会計期間は「原材料及び貯蔵品」と一括して掲記しております。なお、当第3四半期連結会計期間に含まれる「原材料」「貯蔵品」は、それぞれ1,281,796千円、55,190千円であります。
(四半期連結損益計算書)	前第3四半期連結会計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「休止固定資産減価償却費」(444千円)は、営業外費用の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結会計期間では区分掲記しております。

【簡便な会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
1. 固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)								
<p>※1. 有形固定資産の減価償却累計額は、12,092,465千円です。</p> <p>2. _____</p> <p>※3. 四半期連結会計期間末日満期手形 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。</p> <table> <tr> <td>受取手形</td> <td>45,458千円</td> </tr> <tr> <td>支払手形</td> <td>49,007千円</td> </tr> </table> <p>※4. 無形固定資産には、のれん65,450千円が含まれております。</p>	受取手形	45,458千円	支払手形	49,007千円	<p>※1. 有形固定資産の減価償却累計額は、11,609,748千円です。</p> <p>2. 偶発債務</p> <table> <tr> <td>債権流動化に伴う買戻義務額</td> <td>190,536千円</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td></td> </tr> </table> <p>※4. 無形固定資産には、のれん77,722千円が含まれております。</p>	債権流動化に伴う買戻義務額	190,536千円	_____	
受取手形	45,458千円								
支払手形	49,007千円								
債権流動化に伴う買戻義務額	190,536千円								

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)																						
<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>給料及び手当</td> <td>1,102,888千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>141,878</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td>11,401</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>160,744</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>25,549</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td></td> </tr> </table>	給料及び手当	1,102,888千円	賞与引当金繰入額	141,878	役員賞与引当金繰入額	11,401	退職給付費用	160,744	役員退職慰労引当金繰入額	25,549	_____		<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>給料及び手当</td> <td>1,045,683千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>134,060</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td>6,755</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>154,371</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>19,870</td> </tr> </table> <p>※2. 法人税、住民税及び事業税、及び法人税等調整額については、法人税等として一括して表示しております。</p>	給料及び手当	1,045,683千円	賞与引当金繰入額	134,060	役員賞与引当金繰入額	6,755	退職給付費用	154,371	役員退職慰労引当金繰入額	19,870
給料及び手当	1,102,888千円																						
賞与引当金繰入額	141,878																						
役員賞与引当金繰入額	11,401																						
退職給付費用	160,744																						
役員退職慰労引当金繰入額	25,549																						

給料及び手当	1,045,683千円																						
賞与引当金繰入額	134,060																						
役員賞与引当金繰入額	6,755																						
退職給付費用	154,371																						
役員退職慰労引当金繰入額	19,870																						

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)																						
<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>給料及び手当</td> <td>246,399千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>141,878</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td>3,800</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>53,964</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>9,037</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td></td> </tr> </table>	給料及び手当	246,399千円	賞与引当金繰入額	141,878	役員賞与引当金繰入額	3,800	退職給付費用	53,964	役員退職慰労引当金繰入額	9,037	_____		<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>給料及び手当</td> <td>268,551千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>134,060</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td>2,223</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>50,830</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>6,985</td> </tr> </table> <p>※2. 法人税、住民税及び事業税、及び法人税等調整額については、法人税等として一括して表示しております。</p>	給料及び手当	268,551千円	賞与引当金繰入額	134,060	役員賞与引当金繰入額	2,223	退職給付費用	50,830	役員退職慰労引当金繰入額	6,985
給料及び手当	246,399千円																						
賞与引当金繰入額	141,878																						
役員賞与引当金繰入額	3,800																						
退職給付費用	53,964																						
役員退職慰労引当金繰入額	9,037																						

給料及び手当	268,551千円																						
賞与引当金繰入額	134,060																						
役員賞与引当金繰入額	2,223																						
退職給付費用	50,830																						
役員退職慰労引当金繰入額	6,985																						

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年12月31日現在) (千円)	※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年12月31日現在) (千円)
現金及び預金勘定 2,241,074	現金及び預金勘定 3,454,529
現金及び現金同等物 2,241,074	現金及び現金同等物 3,454,529

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成21年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数
普通株式 10,000千株
2. 自己株式の種類及び株式数
普通株式 3千株
3. 新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。
4. 配当に関する事項
(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年6月25日 定時株主総会	普通株式	79,971	8	平成21年3月31日	平成21年6月26日	利益剰余金
平成21年11月5日 取締役会	普通株式	59,978	6	平成21年9月30日	平成21年12月10日	利益剰余金

- (2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)及び前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)並びに前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

当社グループは単一セグメントに属する香料等の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,678,299	468,745	4,147,044	—	4,147,044
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	130,556	—	130,556	(130,556)	—
計	3,808,855	468,745	4,277,601	(130,556)	4,147,044
営業利益	273,077	82,186	355,263	5,683	360,946

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,939,761	1,287,605	12,227,366	—	12,227,366
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	340,295	—	340,295	(340,295)	—
計	11,280,056	1,287,605	12,567,662	(340,295)	12,227,366
営業利益	683,120	196,943	880,063	5,375	885,438

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

アジア……………中国、台湾

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（千円）	340,585	542,144	156,305	31,437	1,070,473
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	4,618,059
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	7.4	11.7	3.4	0.7	23.2

当第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（千円）	956,053	233,287	108,596	42,737	1,340,674
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	4,147,044
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	23.1	5.6	2.6	1.0	32.3

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（千円）	1,438,921	1,595,773	466,192	152,497	3,653,384
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	14,803,195
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	9.7	10.8	3.2	1.0	24.7

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（千円）	2,424,992	607,682	297,809	148,407	3,478,891
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	12,227,366
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	19.9	5.0	2.4	1.2	28.5

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

- (1) アジア…中国、韓国、台湾
- (2) 欧州……スイス、英国、フランス
- (3) 北米……米国
- (4) その他…南米、オセアニア

3. 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(有価証券関係)

当第3四半期連結会計期間末（平成21年12月31日）

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間末（平成21年12月31日）

当社グループの利用しているデリバティブ取引にはヘッジ会計が適用されているため、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 1,197円18銭	1株当たり純資産額 1,150円66銭

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 123円13銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 45円16銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
四半期純利益(千円)	1,230,906	451,485
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	1,230,906	451,485
期中平均株式数(千株)	9,996	9,996

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 31円96銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 20円18銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
四半期純利益(千円)	319,511	201,726
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	319,511	201,726
期中平均株式数(千株)	9,996	9,996

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)

リース取引開始日が平成20年3月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引について引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っており、かつ、当該取引残高が、前連結会計年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載しておりません。

2 【その他】

平成21年11月5日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額……………59百万円

(ロ) 1株当たりの金額……………6円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日……………平成21年12月10日

(注) 平成21年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年2月3日

曾田香料株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 原 一浩 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山口 光信 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている曾田香料株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、曾田香料株式会社及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年2月2日

曾田香料株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	原 一浩	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	木村 聡	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている曾田香料株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、曾田香料株式会社及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。